

## 今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も  
HPで公開中!

### 生産抑制時の技術対応③

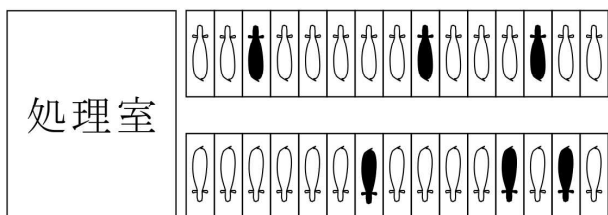
#### ～牛の並び替え～

繋ぎ飼い牛舎であっても、乳牛をグループ化して並べることにより群管理が可能となり、より一層、緻密な個体管理が可能となります。みなさんの農場でも乳牛の並べ替えを行い、経営の効率化を図りましょう。

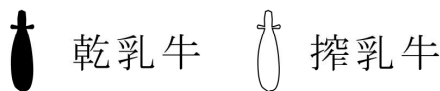
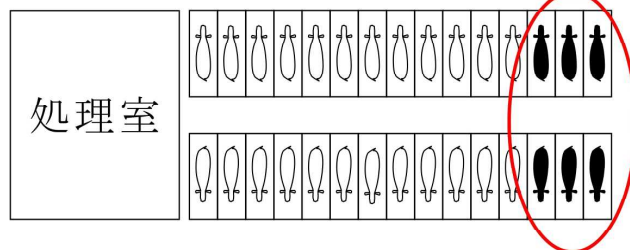
#### 1 並べ替えの事例紹介 【搾乳牛と乾乳牛を分ける】

搾乳牛の間に乾乳牛がいたり、配合飼料を盗食して過肥になる危険性が高くなります。搾乳牛と乾乳牛を分けて管理しましょう。

##### 乾乳牛が搾乳牛の間に混在



##### 乾乳牛を固める



#### 2 並べ替えの注意点

(1) 「牛の並べ替え」には、これといった分け方は存在しません。

産次数ごと（初産牛と経産牛）や、牛床の長さで並べ替えするなど、各農場の施設、牛群構成、管理形態によって、いろいろな群分けがあります。

(2) 放牧体系においては、放牧時期の「牛の並べ替え」が難しい場合もあります。放牧時期はあまり群分けに固執する必要はありません。舎飼期（半年もあります）に並べ替えを実施しましょう。

(3) 「牛の並べ替え」によってミルカー装着において右左が変わる場合があり、牛が嫌がることもあります。

(4) 黄色ブドウ球菌（SA）などの伝染性乳房炎が存在する場合は、ミルカーを介して伝染していくので、SA罹患牛だけを固めておき、最後に搾乳するのが良いでしょう。

ご不明な点がございましたら、普及センターまで連絡してください。